

**Coleman** 

**Coleman™ Lantern**  
**取扱説明書**



**NorthStar™ TUBE MANTLE**  
**Model 2000**

# 1 燃料を入れる

必ず、アウトドア（屋外）の火気のない所で行ってください。

①燃料バルブを「OFF」にする。(図1)

- △ 点灯中、もしくは消火直後の本体が熱をおびている時の給油はしないでください。引火する恐れがあります。



図1

②燃料キャップをあけ、ファネル等のアクセサリーを使用して燃料を8分目まで入れる。(図2)

- △ 燃料を入れ過ぎると空気圧をかけるスペースがなくなり、不完全燃焼の原因になります。  
 △ 給油は必ず水平な場所で行ってください。  
 △ こぼれたガソリン等はすぐに拭き取ってください。



図2

# 2 ポンピング

燃料タンク内に空気圧を加えます。

①燃料バルブ、燃料キャップを「OFF」にする。(図3)

②ポンプノブを持ち、固くなるまで(25回以上)ポンピングする。(図4)

- △ 空気圧がかかってくるとノブの中心にあるプレッシャーインジケータが出てきますが、必ず固くなるまでポンピングしてください。



図3



図4

### 3 マントルの装着

必ず、コールマン純正チューブ型マントルをご使用ください。

- ①ペンチレーターナットを外す。(図5)
- ②ペンチレーター、ガード、グローブを取り外す。(図6)

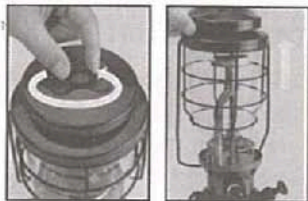


図5 図6

- ③バーナーチューブと下部のマントルサポートにマントルをかぶせる。(図7・8・9)

△ クリップが上下の溝に入るようにセットしてください。



図7



図8



図9

- ④上上のクリップをひねって固定する。(図10・11・12)

- △ マントルの赤い線が垂直になるようにセットしてください。
- △ マントルが自動点火装置の電極にからまないようにしてください。



図10



図11



図12

### 4 カラヤキをする

点火する前に一度、マントルを燃やして灰状にします。

- ①マントルの下部から均等に火をつけて、完全に灰状になるまで燃やす。(図13)

- △ カラヤキしたマントルは、非常にもろく、強い衝撃や指先・マッチ等で簡単に破損します。取扱いには充分注意してください。
- △ マントルは消耗品です。常時、予備のマントルをご用意ください。
- △ カラヤキしない、または途中で点火するといびつな形状になり、正常な光量が得られない場合があります。必ず完全にカラヤキしてから、点火してください。

- ②ペンチレーター、ガード、グローブを元に戻す。ペンチレーターナットを閉め、固定する。(図15)

- △ ガードワイヤーがフレームの所定の位置にはまる様にセットしてください。(図14)
- △ グローブをセットする時にマントルクリップにぶつからない様に注意してください。



図13



図14



図15

## 5 点火

必ず、屋外で使用してください。テント内、屋内もしくは換気の悪いところでは使用しないでください。

自動点火ボタンを押しながら、燃料バルブを開き点火する。(図16・17)

⚠ 点火時は炎が上に上がりますので、ランタンにかがみ込まないでください。



図16



図17

## 6 光量調節・消火

①光量調節は燃料バルブを左右に回して調節する。(図18)

②消火は燃焼バルブを「OFF」まで確実に回す。(図19)

⚠ 完全に消火するにはジェネレーター内の気化燃料がなくなるまで2～3分かかります。

⚠ 再度、点火する際は、5分～20分位間隔をあけてから点火してください。異常燃焼する場合があります。



図18



図19

## メンテナンス

1. ジェネレーター部分は定期的なクリーニングが必要です。クリーニングは使用中に燃料バルブを「OFF」～「HIGH」まで数回開閉します。
2. 自動点火装置内の電池は1年に1回は交換してください。自動点火装置を本体から取り外し、電池を交換してください。(図1・2) 電池は単4アルカリ乾電池を御使用ください。ニッケルカドミウム電池は使用しないでください。交換作業中は自動点火ボタンを押さないでください感電する恐れがあります。
3. 1ヵ月以上ご使用にならない場合は乾電池を取り外してください。
4. グローブが破損した場合は図3、4のように交換してください。
5. カラヤキしたマントルは非常に壊れやすいので常時、予備のマントルを携帯してください。穴の開いたマントルは使用しないでください。
6. 自動車用無鉛ガソリンは性質にバラツキがありますので、必ずJIS規格の無鉛ガソリンをご使用ください。その他のガソリンを使用するとジェネレーター-のつまりの原因になる場合があります。
7. 燃料タンクは1年に1回位、新しいホワイトガソリンで内部を洗浄して不純物を取り除いてください。燃料の吸い上げが悪くなる場合があります。
8. ポンプカップには定期的に専用のリユブリカントを付けてください。油がきれるとポンプカップの破損につながる場合があります。
9. 直射日光のあたらない、温度が40℃以下、湿気、ホコリの少ない場所に保管してください。幼児・子供の手の届かない様にしてください。
10. 修理・製品についてのお問い合わせはお買い上げ頂いたお店、もしくは弊社までお問い合わせください。保証書はなくさず大切に保管してください。



図1



図2



図3



図4